

家庭で3Rに取り組んで、 集積所をきれいに使いましょう①

川崎市では、平成25年9月から全市でプラスチック製容器包装の分別収集が始まりました。あわせて、普通ごみの収集が週に2回となりました。家庭での分別方法やごみ出し方法について、以下のヒントをご覧ください、市内の3Rを推進しましょう。

Q. 1 3Rってなに？

3Rとは、
・「リデュース(発生・排出抑制)」
・「リユース(再使用)」
・「リサイクル(再生利用)」
をあわせた総称です。川崎市では、地球環境にやさしい資源循環型のまちを目指し、ごみの減量化・資源化のために3Rを促進しています。

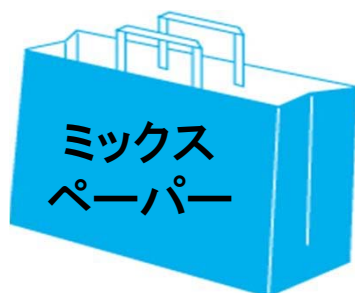


Q. 2 家庭で分別するものが増えて大変。どうしたら減らせる？

ごみになるものを家に持ち込まないことが大切です。買い物に出かける時にマイバッグに食品トレイを入れていけば、家庭での分別も楽になり、不要なレジ袋が増えません。

Q. 3 家庭での分別や保管が大変。どうしたらいいの？

品目ごとの分別袋を用意し、不要になった時点ですぐにミックスペーパーやプラスチック製容器包装に分けることがポイントです。



家庭で3Rに取り組んで、 集積所をきれいに使いましょう②

Q. 4 そもそも何で分別する必要があるの？

品目ごとに再生できるものが違うからです。例えば、同じ紙類でも、新聞紙は新聞紙、段ボールは段ボール、ミックスペーパーはトイレトペーパーにリサイクルされます。プラスチック製容器包装は、マンホールの蓋やアンモニアなどに再生されます。

Q. 6 その他に家庭からごみを減らすコツはありますか？

マイボトルを持って出かけたり、不要になった衣類等をリサイクルショップに持ち込んだりして、暮らしのいろいろな場面で3Rに取り組むことができます。また、生ごみの水切りもごみの減量に効果的です。

Q. 5 家庭で分別したごみや資源を集積所に出す時に気をつけるポイントは？

集積所をきれいに使うためには、各家庭で分別に取り組み、品目ごとに決められた曜日・時間にごみ・資源を出すようにすることが大切です。例えば、ペットボトルを半分に切り重ねたり、ごみ袋から空気を抜いてしばることでごみ・資源の容積を小さくし、集積所をきれいに使うことができます。

